



# 横浜市 技連協だより

第 9 号  
平成 13 年 1 月 25 日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 川上 三寶  
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町 2-4-7  
電話 045-681-6553 FAX 045-664-9400

## 謹賀新年



### 新しい年を迎えて

会長 川上 三寶

技連協の皆さん、新年明けましておめでとうございます。  
記念すべき二〇〇一年を心新たに迎えられたこととお慶び  
申し上げます。

旧年中は技連協の活動に対しましてご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。長引く景気低迷も、いまもつて、不透明感を払拭するまでには至っていないのが実情ではないかと思われまます。このような厳しい環境のなかで、私たち技能職者は長年の経験で得た技能と知恵を最大限に発揮し、日常生活の隅々にわたって市民生活を支えているという自負をもって、今年も頑張っていきたいと思えます。

ここ数年、小学生による「将来就きたい職業は」というアンケート結果では、常に技能職が上位にランクされています。このことは、長引く不況を反映して、手に職をつけたいと考える子供が増えたことだと思えます。こうした子供たちの夢をつなぐ架橋として私たちは、伝統技能を受け継いだ手づくり・手仕事による「本物の良さ」や「ものづくりの大切さ」を継承し後継者の育成を図って行かなければなりません。

さらに、技能職の社会的、経済的地位の向上、発展に向けた活動を展開するために、会員皆様におかれましては更なるご尽力をお願いいたします。21世紀の始まりの今年こそ、景気回復が図られ、飛躍の年になりますことを祈念いたします。年頭のご挨拶とさせていただきます。

1 **2002年ワールドカップサッカー横浜開催を成功させよう!**





## 21世紀を創る

横浜市長  
高秀 秀信

21世紀元年、平成13年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

この一年が、横浜市技能職団体連絡協議会の皆さん一人ひとりにとって、幸せで健やかな年でありませう、心からお祈りいたします。

新たな百年に臨み、その始まりにいる私たち、そして、これから生まれる世代にとって、この百年が最良の時代となり、英知、創造、進歩などの言葉をもって後世に謳われる時代となるよう、皆さんとともに歩みを進めていきたいと、思いを新たにしております。

21世紀に私たちが目指すべき社会像は、「自立」を軸とする「活力ある福祉社会」―「自立を原動力に、すべての人がいきいきと暮らせる社会」だと私は考えております。そうした社会において自治体が果たすべき使命は、皆さんの自立を支える土台をしっかり築くこと。そして、これには二つの視点があります。

一つには、「機会の創出」。

人々が自立に向けて様々なことへの「挑戦」をするためには、まず、充分に機会が用意されていなければなりません。福祉、経済、教育、文化、スポーツなど、いろいろな分野で機会が得やすい街を実現していく必要があります。

二つめは「市民生活の安全・安心・安定の確保」。

「いざ」という時にも安心して暮らせる」という確かさの確保は、どのように時代が変化しようとも堅持すべき自治体の使命です。同時に、そうした

セーフティネットの確立こそ自立と挑戦を応援し、支えるものとなります。新たな挑戦に安心して臨むことができる条件を確実に整備していかねればなりません。

市民も企業も街も基本的には「自立」し、補い合う。そして、セーフティネットという保障機能も持つ。私は、21世紀の横浜が、そうした「自立都市」となることを目指しております。

「自立都市・横浜」の実現に向けては、少子・高齢化、環境問題、財政難など、課題が今なお山積しています。しかし、こうした試練に立ち向かう時だからこそ、余すところなく英知を駆使し、前向きに創造的に取り組めば、新たな進歩が見いだせるのではないでしょうか。元気を生み出すためにはどのような施策が必要なのか―そうした発想をもって、市民の皆さんとともに、21世紀の横浜のランドデザインを描いていきたいと思えます。

21世紀元年、今年には「自立都市・横浜」実現の新たな一歩を踏み出す重要な一年になります。市民生活を取り巻く課題―「福祉」「経済」「子ども」「環境」「まちづくり」等を一つひとつ確実に解決していくとともに、「自立」に向けた新たな「挑戦」、そして2002年FIFAワールドカップサッカー大会開催準備など、さらなる「元気」を生み出す取り組みにも力を注いでいきたいと考えています。新たな開港という目標を達成するため、皆さんと手を携えて、その道を切り拓いていきたいと、あらためて気を引き締めておりますことを申し上げて、21世紀元年新春のごあいさつとさせていただきます。

横浜市技能職団体連絡協議会の皆さんの暖かく力強いご支援を心からお願いいたします。

## 最近の主な団体活動状況

平成十三年技連協賀詞交換会

1月11日(木) 横浜市管工事協同組合

(ロイヤルホールヨコハマ)

1月13日(土) 横浜豆腐商工業協同組合

(ホテルホリデイ・イン横浜)

1月15日(月) (社)神奈川県塗装協会(社)横浜塗装工業会(ロイヤルホールヨコハマ)

1月15日(月) (社)神奈川県電業協会

(横浜ベイシエラトン)

1月16日(火) 神奈川県理容環境衛生同業組合

(横浜プリンスホテル)

1月16日(火) 横浜市美容組合連絡協議会

(エルパイン)

1月19日(金) 横浜市菓子協議会

(ザ・ホテルヨコハマ)

1月19日(金) 神奈川県捺染型協同組合

(エルパイン)

1月19日(金) 藤沢市技能職団体連絡協議会

(藤沢市市民会館)

1月20日(土) 神奈川県木型工業協同組合

(ロイヤルホールヨコハマ)

1月21日(日) 首都圏建設産業ユニオン横浜支部

(横浜市技能文化会館)

1月23日(火) 横浜市理容連合会

(ホテルリッチ)

1月23日(火) 川崎市技能職団体連絡協議会

(てくのかわさき)

1月23日(火) 神奈川県表具経師内装協同組合

合横浜支部(ホテルホリデイ・イン横浜)

1月25日(木) 横浜市屋外広告美術協会

(新横浜グレイスホテル)

1月28日(日) 横浜市鍼灸マッサージ師会

(ブリーズベイホテル)



# 手締め

会長 川上 三寶

物事の結着や成就を祝って、関係者がそろって拍子を合わせて手を打つことで、手打ちともいうが手打ちとは違う意味らしい。

建築の建前が出来た喜びで多少の事はあっても無事終わり、木の香りが漂う現場に仮の祝い席が出来て、棟梁はじめ各職の皆さんが祝い酒をご馳走になり、俺も大工になって棟梁等といわれ、男冥利につきるひと時で、普段は、次の日の事や次の段取りで、頭から仕事の事が離れないのですが、何もかも忘れお祝い事に誰もかすり傷もしなくて良かったと、盃を口にしていて、お施主さんからお祝儀をいただき、御礼を申し上げ、鳶の頭が木遣りを始め、最後に「今宵目出度くおさめますぞえー」と木遣りが歌い終ると同時に、「お手を拝借」「ヨーオウ」の音頭で一同が「シャン、シャン、シャン」と三回繰り返し、最後に「シャン」と打って十締めの本で目出度くお開きになります。これは三回行って3×3は9ですが漢字で書くと九になりもう一つ「シャン」とうつこととで点が入り「丸」になり丸くおさまるという意味で一本と言うのだそうです。

巷で、一本締めとか三本締めと言われておりますけれど建築での場合はテンポが遅く十締めですので、建前以外の時はテンポが早いか遅いが地域によっても違いますので、呼吸が合わないで、叩きそこないのグループがあると、みんなの目がその人に集中したりして「手の叩き方も知らない」等と言われてしまう事があり、棟梁、頭は事前に一寸説明をしてからの方が親切だと思えます。「シャン、シャン、シャン」「シャン、シャン、シャン」「シャン、シャン、シャン」「シャン」



となりです。江戸消防の会合では開会に一本、中締めで一本、閉会の大締めに一本を入れて三本にし三重丸になり、子供の頃から三重丸はあこがれでしかない。歌舞伎の襲名披露等では口

上をのべた後に手締めをします。その際に「小屋（劇場）に一本、お客様に一本、そして襲名する当事者に一本」という恰好で三本締めとし、調子良く気分を一段と高揚させます。最近関東一本締め等と申して「ヨーッポン」等という山の手の外あたりから流行している様ですが時代の流れでしょうか、若い人の集りを中心が増えて来たようです。三、三、七拍子等といつて音頭をとる人がいますが、あれは運動会等で応援をするときに（チャッチャ、チャッチャ、チャッチャ）（三）（チャッチャ、チャッチャ、チャッチャ）（三）（チャッチャ、チャッチャ、チャッチャ）（七）というのであって三本締めとは違うと思います。

手締めにはそれぞれの職業や土地土地の特色があつていいと思います。手締めの分布ですが、新興勢力の「ヨーッポン」とは関東一本締めと呼ばれるが、どの地方まで拡がっているのか。

東京証券取引所大納会、大発会では伝統的に三本締めが行われ、札幌取引所でも三本締め、名古屋と京都の取引所も三本締めが、大阪に入ると一転して手締めをしなくて万歳三唱をする。ちなみに名古屋は三本締めと万歳の両方をするところをみると、このあたりが境界線なのかも知れない。

中央卸売市場は一月の五日の初せりのときに、水産は一本締め青果は三本締めで、千葉の市場では一本締め、横浜、静岡、浜松は三本締めで「ヨーッポン」の手締めは街中で見ることはあっても市場内ではやらない。

い。意外なのは関東という言葉で連想する、大宮市、いわき市、宇都宮市の市場も三本締めで関東の一本締めはどこへ行ったのか。栃木県立博物館の部長さんは、「もともと一本一度きりというのを職人や商人は嫌っています。でも二十年位の間に職場のまわりでも随分とそういった「ヨーッポン」の手締めが若い人の集りを中心が増えて来たのは事実で手締めの境界線は世代や職業の間にもあるようだ」と言っていた。

## お知らせ

### ●研修会

日時 2月5日（月）午後2時開会  
場所 横浜市技能文化会館 2階多目的ホール  
内容 テーマ「スポーツの中に見る理想の指導者像」  
講師 横浜国際総合競技場場長・NHK解説委員 西田 義夫氏

### ●新春交流会

日時 2月5日（月）午後5時開会  
場所 ホテル横浜ガーデン3階「ミモザ」  
参加方法については各団体に連絡済。

### ●第2回「職人から学ぶ講座」

主催 横浜市勤労福祉財団 共催 技連協  
日時 2月14日（水）午後2時～4時  
場所 横浜市技能文化会館  
内容 「和菓子づくりを学ぶ」  
・家庭でできる本格和菓子を組合屈指の熟練した職人から学ぶ。（桜餅他2点）  
協力講師団体 横浜市菓子協議会

### ●第21回技連協ポウリング大会

日時 2月27日（火）午後6時15分開会  
場所 大口ボウル  
参加方法については各団体に連絡済。



## 神奈川県全調理師協会

### 研修会を開催

全調理師協会では、人権週間（十二月四日～十日）に先立って、研修会を開催しました。

日時 平成12年11月29日（水）午後3時～4時30分

場所 エルパイン（横浜市老松会館）

内容 「傍若無人」～心でみつめれば人はそばにいる～

講師（財）横浜市勤労福祉財団

常務理事 会沢 芳一氏

#### 受講者の感想

工藤 昭（理事長・川崎市技能職団体連絡協議会会長）

横浜市技能職団体連絡協議会 川上三寛会長は

じめ皆様新年明けましておめでとうございます。

日頃は神奈川県全調理師協会に対しまして、心温まるご指導とご協力で深く感謝申し上げます。

どうぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。

このたび、会沢芳一常務

理事を講師としてお招きし、大変感銘したとともに、誠に人生の機微に満ち

たお話で、講師の博学には

まず驚きました。

歌は世につれ、世は歌に

つれから始まりまして、世

界人権宣言・人は皆平等・



高校野球優勝チーム監督の基本が大事の話とか、狂犬病の話では、先進国はどこもが予防の義務化が浸透されているのかと思ったら、なんと日本と

ニュージーランドとオーストラリアのみと聞いて

おどろいた。世界はわからないものです。

この他、「学歴だけで人を判断してはいけない」

「日の吉凶、大安、仏滅」のこと、今の世でも丙

午の出生率が低いなど、徳川時代では甲子の年は

必ず年号が改められたとか、十千十二支などのこ

だわりについてのこと。「どこの馬の骨かわから

ない奴」のお話では、娘の結婚式の時に同じこと

を言って失敗したことを思い出したり、数えても

みなかった先祖を十五代前に遡り、その子孫を数

えると三万二千七百六十八人になるとか。肉を食

べるからには「と畜」が不可欠であることなの

に、全くと言って言いほど知らなかったこと。例

えば、全国で一日の牛のと畜数が五千二百頭、豚

は六万八千頭、横浜市だけでも牛八十頭、豚七百

頭とか。それも「と畜」が始まって枝肉になるま

で、十八分の速さで処理され、この間に病気の有

無まで調べる手際よさ。

私共、食に携わる者としてあまりにも知識の無

さに恥じ入りました。正に「目からウロコが落ち

る。」とはこのことでした。人権やこだわり等に

ついて、熱心にお話しいただいた、会沢先生には

心から感謝致す次第であります。

合 掌

## よこはま技能まつり チャリティー益金の寄贈



を通じて、横浜市社会福祉協議会「あいあい基金」へ寄贈しました。

「第21回よこはま技能まつり」は悪天候の中で開催した

にもかかわらず、各団体の皆

様よりご寄付をいただいた

チャリティー益金192、8

49円を、さる平成十二年十

二月二十六日（火）、市長室に

おいて、國峯・島山西副会長、

堀会計理事から高秀秀信市長

コーヒーは、火でもっとうまくなる。



直火珈琲【ファイア】

新登場

Feel the FIRE.

キリンビバレッジ

キリンビバレッジ

キリンビバレッジ